

平成 30 年度大阪府立大学校友会第 2 回評議員会議事録

平成 30 年度大阪府立大学校友会第 2 回評議員会が、平成 31 年 3 月 9 日（土）午前 11 時より、「I-site なんば」にて校友会理事会と同時開催された。

議事に先立ち、事務局から評議員会の成立要件を満たしている旨の報告があり、評議員会の成立を確認した後、津戸会長及び辻学長の挨拶があり、津戸会長が議長となって議事に移った。

《議事》

1. 校友会会則の一部改正について

議長から資料 1 に基づき、大阪府立大学校友会会則の一部改正について提案がなされた後、事務局から説明があり、原案のとおり了承された。

2. 評議員の交代について

議長から資料 2 に基づき、評議員の交代について報告がなされ、了承された。

3. 役員の交代について

議長から資料 3 に基づき、役員の交代について提案がなされ、原案の通り了承された。

4. 補正予算について

議長から資料 4 に基づき、補正予算について提案された後、事務局から説明があり、原案通り了承された。

5. 第 9 回ホームカミングデー ウェルカムパーティについて

事務局から、資料 5 に基づき、平成 30 年 11 月 4 日に実施した第 9 回ホームカミングデーの開催結果及びアンケート結果の概要の報告がなされた。津戸会長から次年度のウェルカムパーティについて 11 月 3 日（予定）に体育館で開催する旨の提案があり、了承された。

6. その他

- (1) 議長から、海外での校友会活動及び若年層の校友会活動参画推進のための所信が述べられた後、事務局から具体事例の説明がなされた。各委員からも意見が出され、その意見を踏まえ、新年度の事業計画を作成したい旨の発言が、議長からあった。

（事務局説明）

海外での校友会活動の一例として大阪市大の状況を説明し、府大校友会においても海外拠点を検討したいので、それぞれの単位同窓会において、海外赴任している卒業生の情報があれば、その情報を提供してもらいたい旨の説明があった。

若年層の校友会活動参画推進のため、卒業式の前の適切な時期に、校友会主催のパーティを適切な予算規模で行うことで、校友会の存在をもっと認識してもらうとともに、卒業後の連絡手段確保のため OPU-Net 翔への登録推進などを行いたい旨の説明があった。

(各同窓会からの意見および取組状況紹介)


- 若年層の校友会活動参画推進のため、白鷺祭実行委員会経験者の活用を考えてはどうか。
- OPUネットへの登録依頼は、4月のできるだけ早い時期に行った方がよい。
- 東京同窓会では、若い人を講師に年5回ほど講演会を開催することで若年層の参画を推進している。1回40人くらい参加者があり、新しい人が4~5人増えている。
- 若年層の参画も大事だが、本格的な同窓会活動の参加は、60才になってからが多いのが現実であり、同窓会活動の活発化のためには40~50歳代への配慮も必要ではないか。
- 看護系同窓会白鳥会の会員は40代半ばが多く、また、看護の卒業生なので女性が多いのが特徴である。総会の時は託児所を設置することで、参加者増に努めている。
- 学位記授与式で地域同窓会のパンフレット配布、ホームカミングデーウェルカムパーティーの場で地域同窓会のPRをしているが、各单位同窓会からも各地域同窓会への卒業生情報の提供をお願いしたい。

(2) 議長から、今回の評議員会議事録署名人として、竹内正吉評議員及び徳留靖明評議員が指名された。


(3) 次回評議員会の開催について、6月22日(土)に開催する旨の報告があった。

《議事録署名人》

大阪府立大学校友会評議員会議長(会長)

津 亨 正 広 

大阪府立大学校友会評議員

竹 内 正 吉 

大阪府立大学校友会評議員

徳 留 靖 明 